

平成 29 年第 1 回定例会総括質疑

平成 29 年 3 月 10 日

(7枚のうち1枚目)

| 順位 | 発言者 | 質疑事項 | | 質疑の相手 | 長から委任を受けた説明者 |
|----|---------|----------------|---|-------|--------------|
| 1 | 山下 和義議員 | 1 平成 29 年度施政方針 | <p>平成 27 年度の人口は 2 万 6,810 人でまた、人口減少と過疎・少子高齢化による現状は、行政サービスの在り方に大きな変革が必要になる。そこで、</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 人口減少を抑制する取組 (2) 少ない人数で地域を最大限に活用し、まちの機能を維持していく工夫 (3) 各分野における多様な人たちの「新たなる挑戦」のための施策 (4) 本格的な行財政改革の実施 (5) 具体的な公共施設の再編 <p>以上について市長の任期中の命題として不退転の決意で取り組むとしている。市長の見解を伺う。</p> <p>また、平成 29 年度の施策の方針として</p> <ul style="list-style-type: none"> (6) 医療保険制度の安定的な運営 (7) 防災拠点となる市庁舎の具体的な検討 (8) 食や土産物の開発により「来訪者に消費してもらおう」アイテムづくり (9) 伊佐で生まれた子ども達を伊佐で育てる幼・保・小・中・高の連携による地方創生 (10) 特別支援学校の誘致活動 (11) 中期的な経営計画の再構築 <p>以上の取組について市長の見解を伺う。</p> | 市長 | |

平成 29 年第 1 回定例会総括質疑

平成 29 年 3 月 10 日

(7枚のうち2枚目)

| 順位 | 発言者 | 質疑事項 | | 質疑の相手 | 長から委任を受けた説明者 |
|----|---------|--------------------------------------|--|-------|--------------|
| 2 | 柿木原榮一議員 | 1 議案第 2 号 平成 28 年度伊佐市一般会計補正予算（第 9 号） | <p>国、県補助事業などの確定や経常経費を節約した結果による事務経費の減額で補正を提案されたが、（歳出に伴う関連も）詳細に説明せよ。</p> <p>歳入（可能なら、歳出も関連して答弁）</p> <p>(1) (款) 1 市税 (項) 1 市民税 (目) 2 法人 (節) 1 現年課税分 83,192 千円の徴収見込額の減額の内訳</p> <p>(2) (款) 1 市税 (項) 6 鉦産税 (目) 1 鉦産税 (節) 1 現年課税分 57,532 千円の徴収見込額の減額の理由</p> <p>(3) (款) 11 分担金及び負担金 (項) 2 負担金 (目) 1 民生費負担金 (節) 3 児童福祉費負担金 20,000 千円の保育所運営費（現年分）の減額の見直し</p> <p>(4) (款) 13 国庫支出金 (項) 1 国庫負担金 (目) 1 民生費国庫負担金 (節) 2 児童福祉費負担金の児童手当 13,417 千円の減額は、当初見込額とどのように違ってきたのか。</p> <p>(5) (款) 13 国庫支出金 (項) 1 国庫負担金 (目) 3 災害復旧費国庫負担金 (節) 1 公共土木施設災害復旧費負担金 14,363 千円の減額は工事件数、工事入札減額なのか。28 年度は、災害が少なかったと思うがどのような復旧だったのか。</p> <p>(6) (款) 14 県支出金 (項) 2 県補助金 (目) 4 農林水産業費県補助金 (節) 1 農業費補助金の経営体育成交付金事業 11,811 千円と農地中間管理事業 15,000 千円はどのような理由で減額になったのか。</p> <p>(7) (款) 14 県支出金 (項) 2 県補助金 (目) 4 農林水産業費県補助金 (節) 2 林業費補助金の鳥獣害防止総合対策交付金事業 30,949 千円の減額は。</p> <p>(8) (款) 19 諸収入 (項) 4 雑入 (目) 4 雑入 (節) 2 雑入の資源リサイクル畜産環境整備事業負担金 14,121 千円の減額の理由。</p> | 市長 | |

平成 29 年第 1 回定例会総括質疑

平成 29 年 3 月 10 日

(7枚のうち3枚目)

| 順位 | 発言者 | 質疑事項 | | 質疑の相手 | 長から委任を受けた説明者 |
|----|---------|----------------|---|-------|--------------|
| 2 | 柿木原榮一議員 | 2 平成 29 年度施政方針 | <p>(1)「実効性の高い安全・安心なまちづくり」で各分野において関係機関と連携しながら、必要となる環境や機能を確保と詠われているが、「必要とする部分に、実際に機能し、十分な効用をもたらすかどうか」また、「どういうリスクが生じるのか」現在考慮中の考え方について、特に認知症に対する支援、高齢者見守り体制を強化するためにどうするか、具体的に示せ。</p> <p>(2)子育てサポートとして、市民との協働による「ファミリーサポートセンター事業」を新たな試みとして開始する予定であるとあるが、新たな試みとはどのようなことか。</p> <p>(3)「成長性を重視した新たな産業政策」とは。既存のビジネススタイルからの脱却、変革を迫られるための考え方を問う。</p> <p>(4)「移住・定住のための新たな展開」のために空き家の公報は、詳細にインターネットを利用し、発信し、居住・定住の紹介までいくのか</p> <p>(5)「魅力ある地元進学・生徒招致の環境づくり」の次なる魅力ある展開があるのか。</p> <p>(6)「スポーツによる地域活性化」でカヌーの他に地域活性化の道は考えられないか。</p> <p>(7)「中期的な経営計画の再構築」で効率性を高めるべき「行財政改革」はどのような方法を考えているのか。</p> | 市長 | |

平成 29 年第 1 回定例会総括質疑

平成 29 年 3 月 10 日

(7枚のうち4枚目)

| 順位 | 発言者 | 質疑事項 | | 質疑の相手 | 長から委任を受けた説明者 |
|----|---------|----------------|--|-------|--------------|
| 3 | 森山 良和議員 | 1 平成 29 年度施政方針 | <p>(1) 重点施策の二点目にある「新たなる挑戦」への投資として、成長性を重視した施策の再構築とあるが、以下の点について具体的な内容を示されたい。</p> <p>ア 異業種連携や6次産業化による新しい取組への積極的な支援とは何か。</p> <p>イ 「働く場の確保」として、どのような支援を講じていくのか。</p> <p>ウ 交流人口増加を図るための“アイテムづくり”“特色ある商品づくり”で目指すものとは何か。</p> <p>(2) 重点施策の三点目「移住・定住のための新たな展開」は、今後も施策の充実、事業拡大を図る、重要な取組として位置付けていく方針か。</p> <p>(3) 重点施策の六点目でも示された「中期的な経営計画の再構築」について伺う。今後、市の財政見通しは厳しいとの見込みだが、全庁的な取組としてどのような行財政改革を実施し、財政再建と産業の振興を図っていくのか。</p> <p>また、既存の行政サービスの見直し、公共施設の再編など、市民への理解と協力をどのように行っていく考えか。</p> | 市長 | |

平成 29 年第 1 回定例会総括質疑

平成 29 年 3 月 10 日

(7枚のうち5枚目)

| 順位 | 発言者 | 質疑事項 | | 質疑の相手 | 長から委任を受けた説明者 |
|----|---------|-----------------------------|--|-------|--------------|
| 1 | 柿木原栄一議員 | 1 議案第 9 号 平成 29 年度伊佐市一般会計予算 | <p>議会事務局の実質定数が 4 人になるが、どのような意図なのか。</p> <p>(1) 平成 29 年度議会費予算の中で、賃金 事務補助員 1 人の 1,053 千円の減額でいなくなり、議会事務局の定数条例では、6 人であるが、議会と市長部局、他部局との理想的両輪の関係が機能していけるのか。</p> <p>(2) 市議会に職員定数条例の一部を改正する条例（案）が提案されていないが、長い間定数条例の職員数と、現在職員数との差にたくさんの幅があるがどのように思っているのか。</p> <p>(3) 市町村の議会事務局設置条例は、議員に専属である。昨年も協力して嘱託職員の起用に同意をした経過があり、地方分権で事務量が多くなっている。事務局の職員数は議会で決定できると、私は思っている。議長は事務局職員又はその任命権の委任を受けたものがない限り、辞職することができないが、市長の考えは。</p> | 市長 | |

平成 29 年第 1 回定例会総括質疑

平成 29 年 3 月 10 日

(7枚のうち6枚目)

| 順位 | 発言者 | 質疑事項 | 質疑の相手 | 長から委任を受けた説明者 | |
|----|---------|---|---|---------------------|--|
| 2 | 緒方 重則議員 | <p>1 議案第 27 号 伊佐市鳥獣被害対策実施隊の設置に関する条例の制定について</p> <p>2 議案第 9 号 平成 29 年度伊佐市一般会計予算</p> | <p>(1) 改正の目的は。</p> <p>(2) 定数 30 人以内とあるが適正な規模か。</p> <p>(3) 職務内容として、調査・駆除・指導とある。具体的に示せ。</p> <p>(1) 歳出 (款) 8 土木費 (項) 2 道路橋りょう費 (目) 4 橋りょう新設改良費 111,000 千円について 国庫補助金減額の影響なのか前年対比大幅な減である。安全対策の面において大丈夫か。また、今後の長寿命化修繕事業に遅れが生じないか。</p> | <p>市長</p> <p>市長</p> | |

平成 29 年第 1 回定例会総括質疑

平成 29 年 3 月 10 日

(7枚のうち7枚目)

| 順位 | 発言者 | 質疑事項 | | 質疑の相手 | 長から委任を受けた説明者 |
|----|---------|---|---|---------------------|--------------|
| 3 | 森山 良和議員 | <p>1 議案第 9 号 平成 29 年度伊佐市一般会計予算</p> <p>2 議案第 27 号 伊佐市鳥獣被害対策実施隊の設置に関する条例の制定について</p> | <p>(1) (款) 6 農林水産業費 (項) 1 農業費 (目) 3 農業振興費 (節) 19 負担金補助及び交付金のうち、鳥獣害防止施設整備事業 202 万 5,000 円の減額について、詳細に示されたい。</p> <p>(2) (款) 6 農林水産業費 (項) 2 林業費 (目) 2 林業振興費 (節) 13 委託料について、内容等を詳細に示されたい。</p> <p>(3) (款) 7 商工費 (項) 1 商工費 (目) 2 商工振興費 (節) 19 負担金補助及び交付金のうち、木造住宅整備促進事業について、事業内容等を詳細に示されたい。</p> <p>(4) (款) 7 商工費 (項) 1 商工費 (目) 3 観光費 (節) 19 負担金補助及び交付金のうち、地方創生推進事業 (DMO 関連) 1,510 万円について、事業内容等を詳細に示されたい。</p> <p>(5) (款) 7 商工費 (項) 1 商工費 (目) 5 特産品振興費のうち、特産・ブランド振興事業 328 万 3,000 円の減額について、詳細に示されたい。</p> <p>(6) (款) 7 商工費 (項) 1 商工費 (目) 4 公園管理費 (節) 15 工事請負費のうち、轟公園遊具解体工事について、詳細に示されたい。</p> <p>(1) 実施隊員数、実施隊員報酬、活動内容等について、詳細に示されたい。</p> | <p>市長</p> <p>市長</p> | |